

名越切通とは

Nagoe Kiridoshi Pass

名越切通は、鎌倉時代に尾根を掘り割って造られたとされる道で、鎌倉幕府の事績を記した『吾妻鏡』の天福元年(1233年)八月十八日条に「名越坂」として登場するのが史料に見られる最初です。後には鎌倉七口のひとつとしても数え上げられ、鎌倉と三浦半島方面とを結ぶ陸路として永く重要な役割を果たしていました。

切通の周辺には、鎌倉の防衛にも関係すると考えられる平場や切岸、やぐらや火葬跡なども多く分布しており、中世都市鎌倉の周縁の歴史的景観を良く残しています。

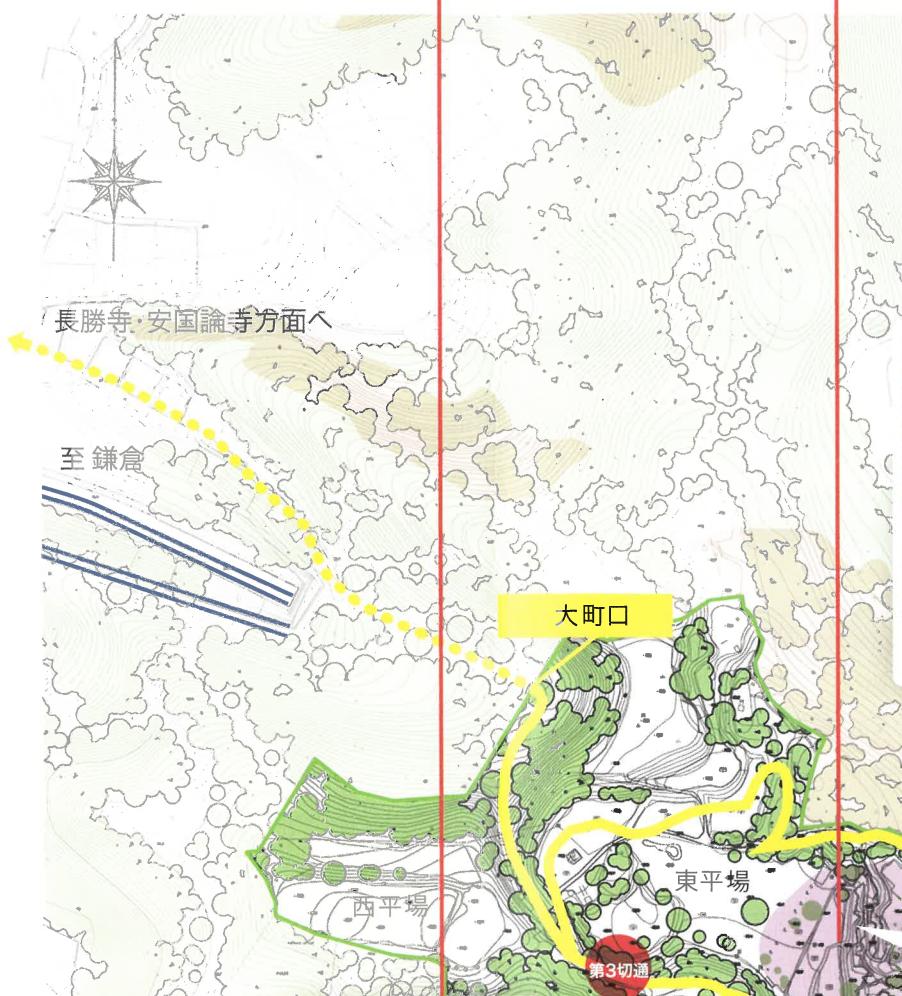
昭和41年(1966年)、最初に逗子市の切通路周辺が史跡指定され、その後、逗子市域、鎌倉市域で複数回の追加指定を経て、総面積は両市合わせて11万平方メートル以上になります。逗子市では、整備計画を定めて積極的に保存と活用を進めています。

名越切通 位置図



切通路

亀が岡団地口から大町口の間に、大小3か所の切通(堀割)があります。



まんだら堂やぐら群

期間限定公開です。
ご注意ください。

150穴以上の四角い横穴に多数の五輪塔が幻想的です。



石廟(鎌倉市指定文化財)

まんだら堂やぐら群

第2切通
小坪階段口

第1切通
亀が岡団地口

この先 バス停 緑ヶ丘入口へ
(逗子駅ルート)

この先 バス停 亀が岡団地北へ

この先 バス停 久木5丁目へ

第1切通

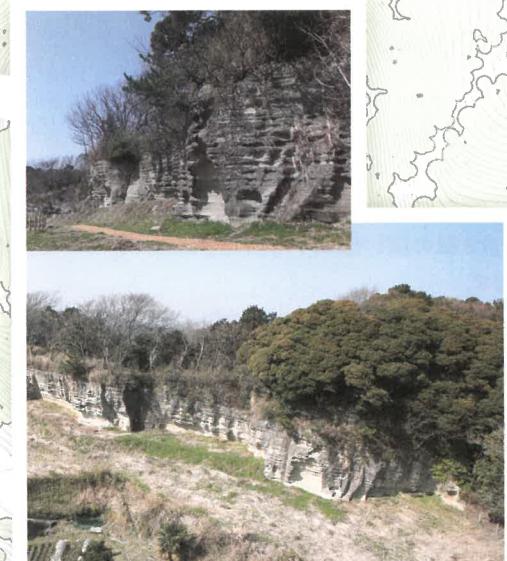
お猿畠の大切岸

人工的に切り落とされた数百mにおよぶ
断崖の連続が見応えあり!

この先にトイレ
衣張山・報国寺方面へ

=逗子市側指定範囲
=鎌倉市側指定範囲

鎌倉逗子ハイランド住宅地



お猿畠の大切岸

名越切通案内マップ

0 100m